第 29　2005.10.22
高知県立橡冬付属病院
〒783-0195
宿毛市山奈町芳奈 8-1
http://www.rpart.kochi.jp/-hatu/

News Letter

病気ひとこと ～「自動体外式除細動器（AED）」

麻酔科　片岡　由紀子

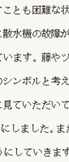
高円宮殿下がスポーツ中に突然倒れ、亡くなられたニュース覚えておられる方も多いと思います。心臓が小刻みに震えて血液を全身に送り出せなくなる心室細動という病名でした。日本国内で年間5万人を超え、その多くが心室細動となって死亡しています。救命率は低くて、10分経過すると、脳に酸素の供給が絶たれるわずかな時間で重い障害を残すか、無いで治療を行わなくてはなりません。心室細動は薬では治せない。心臓に電気ショックを与えて震えを止める除細動が唯一の治療が必要です。しかし日本では救急車が現場到着するのに平均6分を要し、病院に着くまでからでは間に合わないことが多いのです。

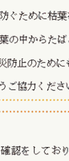
そこで、空港や公民館などの人が集まる場所に自動体外式除細動器（AED）が設置されるようになり、昨年7月には厚生労働省と日本赤十字社の共同で、公共の場所に一般の人が使用できるようにAEDを配布しました。

AEDの操作は難しくありません。除細動が必要な方には、AEDが心電図を解析して教えてくれます。電源ボタンを押すと、音声指示に従って電パッドを貼り付け、絵の表示と音声指示に従って通電ボタンを押すだけです。

当院では近日、AEDの装物を公作成、研究の為の利用などに備え、必要な時に、必要な情報を迅速に提供できる事を目指しています。

今後、機器環境の整備を院において、情報化に対応した管理体制の有効性が可能になってくると期待されます。





部署だより ～診療情報管理室～

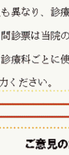
診療情報管理室は、平成14年11月に設置され、私達は診療情報管理士として、病院にとっての個人情報である「診療記録」の回収・整理・保管を行って参りました。

診療記録（情報）の適切な管理は医療の質に深くかかわるものであり、患者さん自身の診療や関示請求、書類の画を予定しております。また、医療情報を迅速に提供できる事を目指しています。

現在、当院では、ADLの実物を公開し、多くの方々に触れて頂ける企画を予定しております。あなたの隣にいる大切な人の命を守るために、ぜひ体験されますように。

9月の統計

外来患者数	16,710 人
外来新患者数	1,976 人
総合患者数	272 人
新入院患者数	434 人
新退院患者数	451 人
平均在院日数	18 日
救急車・時間外患者数	1,453 人
手術件数	151 件



くすのき委員会だより

くすのき委員会は、患者さんへのサービスの向上を目的として活動しています。

ワーキンググループも徐々に活動が本格的になってきています。日々の業務と並行して忙しくなってきましたが、少しでも成果を上げていきたいと思います。

今回も、くすのき委員会での検討案件についてお知らせします。

屋上等の植物の手入れについて

● 屋上の藤やツツジは、鉢の中を根がいっぱいに伸びており、これ以上土を増やすことも困難な状態にあります。また、夏の少雨に散水機の故障が重なり、元気のない状態になっています。藤やツツジは、クスノキと同じく当院のシンボルと考えております。クスノキは専門家に見ていただいており、藤やツツジも依頼することにしました。また、クモの巣は、清掃時に除くようにしていきます。

屋上の花壇には、土の乾燥を防ぐために枯葉を敷いています。清掃時には、枯葉の中からたばこの吸殻がよく見つかります。火災防止のためにも、植物のためにも、喫煙は慎むようご協力ください。

保険証の確認について

毎月最初の診察の時に保険証の確認をしております。複数の診療科を受診された際には、診療科ごとに保険証を確認する場合がありますがご了承ください。

問診票の記載について

問診票は、病状の把握や診察時の質問に役立っています。診療科が違えば病状や経過も異なり、診療科ごとに問診票が必要になります。問診票は当院のみならず、大学を含む他の病院でも診療科ごとに使われています。今後とも記載にご協力ください。

バス運院の患者さんについて

当院では再診の予約診療をしておりますが待ち時間が長くなり、ご迷惑をおかけしております。予約の際には、余裕を持って受診できる時間を申し出てください。また、バスの時刻が近づいた時は受付職員に声をおかけください。すべてに対応できるとは限りませんが、できる限り対応をさせていただきます。

病院でバスを用意してはどうかとのご意見もいただきます。バスは西南交通により四万十市・宿毛市のほか、大月町・土佐清水市へも運行されておりますので、現状でご確認ください。

ご意見の集計

17年7月30日～17年8月29日回収分

接遇について（11件）
- 健診で胃の透視を受けたら、医師が腹痛のため遅れてきて「お待たせしました」の言葉もなく検査を始めた。初めての検査で要領も得ず、医師がイライラして「ちゃんと聞こえていますか？」「さっさとしましょう。時間がかかっているんで」と言われ萎縮してしまった。健診も病院も嫌になった。
- 患者さんを「○○様」と呼ぶことについて違和感を感じる。その後の話し方・内容と落差がありすぎて、「様」が一人歩きして「何なの？」という感じがする。
- 婦省中に耳鼻科を受診した。普段受診していないせいか、冷たい態度だった。もう少し患者さんを大切にし、癒す医師であってほしい。
（ほか8件）

待ち時間について（5件）
- 待ち時間を短くしてほしい。私は遠方からのバス通院で、帰りのバスの時刻が気になりイライラします。
- お年寄りが、車がないためタクシーを利用していることを何人かの人から聞いた。格安の運賃で病院バスを運行できないものか？
（ほか3件）

施設管理について（2件）
- 屋上に気分転換に行ったら、藤は元気がなくなり日陰もなく、クモの巣もあった。
- 診察を待っていたら、17時15分になったとたん照明が落ち、暗い中で待たされた。他の患者さんが受けに声をかけてしばらくして照明がついた。待っている患者の身になって対応してほしい。

院内システムについて（2件）
- 保険証の提示を2回求められた。パソコンによる連携がなっていない。
- 診療科が変わるたびにアンケートを書かされる。医大の他はとんどの病院は診察券1枚で受診できるのに。

感謝（2件）
- 以前、薬を忘れて土佐清水市まで帰ったら、わざわざ自宅まで届けてくれ、涙が出るくらい嬉しかった。
- テレビのイヤホンの使用を実現してもらいありがたい。相部屋でも安心して入院できます。

連携不足について（1件）
- 7月27日の手術のキャンセルの連絡を25日にしてあったのに、当日、病院に行かなかったことについて病院から連絡があった。院内で連絡はできていないのか？

医療技術について（1件）
- 採血時に、6回針を刺されて採血できず、痛みのために気分が悪くなった。手を温めたり、ゆかせるなり、ベテランが対応するなど配慮すべきでは？

その他（1件）
- 外科の診断書の入院日が、7月が正しいのに1月になっていた。訂正を依頼すると、訂正印を押さずに加筆修正されていた。
合計25件でした。

季節の食卓 ～栄養科～

「家族みんなに美味しく食べて欲しい」

人参は一般的に和食用中心の品種。栽培しやすく、育成から、産地から、収穫まで、ほとんどが国内産です。本は秋から出荷されています。本は秋から冬にかけて旬です。甘味・栄養価ともに高くなります。今の時期が美味しい時期からです。

緑黄色野菜の代表である人参は、栄養成分では特にβ-カロテンが豊富です。また、胃腸など腸器官の粘膜、皮膚や髪を健康に保つ働きがあります。ビタミンAは脂溶性なので油脂と一緒に食べると吸収されやすくなります。

例えば、ほうれん草とともにお鍋に入れ、ポン酢やごまドレッシングなどで和えるのもいいです。

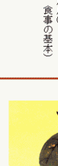
研修予定

《病院職員向け》

10月25日　感染対策研修
10月31日　MCカンファレンス
11月7日　ACLS研修
11月8日　感染対策研修
11月13日　大規模災害訓練

《患者様向け》

11月1日　糖尿病教室（日常生活の注意点①）
11月15日　糖尿病教室（日常生活の注意点②）
10月27日　母親学級（分娩経過と呼吸法）
11月1日　乳房マッサージ・病棟案内
11月8日　外食・嗜好品の注意点
11月15日　糖尿病教室（日常生活の注意点③）
11月29日　食事の基本



橡冬けんみん病院における、患者さんの権利

1. 患者さんは、良質な医療を、平等に受ける権利をもっている。
2. 患者さんは、医療を受けるにあたり、十分な説明を受ける権利をもっている。
3. 患者さんは、プライバシーが守られることを期待する権利をもっている。
4. 患者さんは、自分の希望を伝え、医療に参加する権利をもっている。
5. 患者さんは人間としての尊厳が守られることを期待する権利をもっている。

病院の理念

1. 橡冬けんみん病院は橡冬地域における医療の中核となる病院として、地域の他の医療機関や保健・福祉分機関諸なとどの連携のもとに、地域で完結できる、良質な医療の提供を目指します。
2. 地方公営企業として、地域医療をおして地域の福祉の増進を目指しながら、企業としての経済性を発揮する運営をおこないます。

私たちの目指す医療（基本方針）

1. 正確で間違いのない医療
2. 十分に説明をする医療
3. 透明性を大切にする医療
4. 患者さんの希望を大切にする医療